



異なり記念日

齋藤陽道＝著
本体 2000 円＋税
医学書院 ☎ 03-3817-5600

シリーズ「ケアをひらく」の最新作は、手と目で「見る」家族の物語。「聞こえる家族」に生まれたらう者の著者と、「ろう家族」に生まれたらう者の妻、ふたりの間に、聞こえる子と目が見えない子が生まれる。身体と文化を異にする3人は、言葉の前にまなざしを交わし、慰めの前に手触りを送る。見る、聞く、話す、触れることの（歓び）とともに、ケアが発生する現場からの感動的な実況報告。

認知症の人に寄り添う在宅医療 精神科医による新たな取り組み

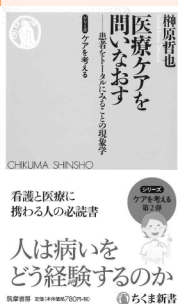
平原佐斗司＝監修、内田直樹＝著
本体 2200 円＋税
クリエイツかもがわ ☎ 075-661-5741



高齢化に伴い、認知症をもつ人は増えてきた。利用者・患者を通じ、その変化を体感している実践者も多いのでは。認知症の方の在宅療養を支えるために精神科医や認知症専門医の力を借りられればと思うが、じつはそうした医師の数は全国的にもまだ少数。そんな少ない専門家たちの取り組みや工夫がまとめられたのが本書だ。認知症在宅医療の最先端が垣間見える。

医療ケアを問いなおす 患者をトータルにみることの現象学

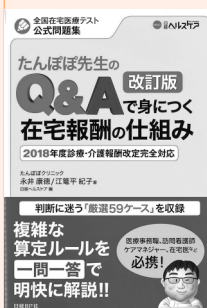
神原哲也＝著
本体 780 円＋税
筑摩書房 ☎ 048-651-0053



病いを患うとはどういうことか、病いを患う人をケアするとはどういうことなのか。本書は「現象学」という視点から医療ケアを見つめ直し、患者の心身をトータルにとらえ、病いの経験を理解して寄り添うケアを考えていく。「1人の人間をトータルにとらえて理解するとは？」に関心のある人に最適な「ケアの現象学」の入門書だ。

たんぼぼ先生の Q & A で 身につく在宅報酬の仕組み(改訂版)

永井康徳、江竜平紀子＝著、日経ヘルスケア＝編
本体 2700 円＋税
日経 BP 社 ☎ 03-6811-8264



複雑な在宅報酬の算定ルール。2018年度診療報酬・介護報酬同時改定に対応する改訂版が本書に当たる。在宅医療で判断に迷う59ケースを厳選し、よく遭遇する事例をもとにQ&Aで解説していくスタイルだ。現場で奮闘する医療事務職、訪問看護師、ケアマネジャー、在宅医など、すべての在宅医療に携わる職種に役立つ内容。

完全図解 世界一役に立つ 介護保険の本

東田勉＝著
本体 1400 円＋税
講談社 ☎ 03-5935-4415



介護保険の利用者は増えているが、その中身が十分に理解されているとはいえない。医療・福祉・介護に強い著者が介護保険のしくみ、申請の方法、サービスの種類と費用、介護保険以外のサービス、介護を取り巻く現状などを網羅的に解説する。図解・イラストで初学者に優しく、ベテランの学び直しにも対応。